

情報モラル教育カリキュラム

分類	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年
情報社会の倫理	a 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	<p>a1-1:約束や決まりを守る</p> <p>▽コンピュータやメディアを使う場合に、決められたルールを守る</p> <p>▽みんなで決めた約束や決まりをまもる</p> <p>▽うそをついたりごまかしたりしない</p>	<p>a2-1:相手への影響を考えて行動する</p> <p>▼ネットワークで誹謗中傷を行わない</p> <p>▼受け手の気持ちを考えて情報発信する</p>	<p>a3-1:他人や社会への影響を考えて行動する</p> <p>▼ネット上の迷惑行為にどのようなものがあるかを知る</p> <p>▼相手の状況を踏まえて、情報発信する</p> <p>▼チェーンメールが社会に与える影響を知り、行わない</p> <p>▼携帯のマナーを知る</p>
法の理解と遵守	b 情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
	<p>b1-1:人の作ったものを大切にすることを</p> <p>▽みんなが使うものを大切に</p>	<p>b2-1:自分の情報や他人の情報を大切に</p> <p>▼(ネット社会でも普段の生活でも、)他人との関わり方を大切に</p> <p>▼情報の提供に対し、感謝と助け合いの精神を持つ</p>	<p>b3-1:情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する</p> <p>▼自分と異なる意見や立場を尊重する</p> <p>▼人の著作物には、著作権があることを知り、尊重する</p>
安全への知恵	c 情報社会でのルール・マナーを遵守できる		
		<p>c2-1:情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る</p> <p>▼ルールやエチケットを知り、守る</p>	<p>c3-1:何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない</p> <p>▼ルールやエチケットを守らない事例を知り、何が良くないのか考える</p> <p>c3-2:「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する</p> <p>▼ルールがなかったらどうなるか、を考える</p> <p>c3-3:契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない</p> <p>▼「はい」や「同意」のボタンは、むやみに押さない</p> <p>▼子どもだけで、売ったり買ったりしない</p>
<p>▽: 道徳の目標と同じ内容</p> <p>▼: 情報モラルの目標</p>	d 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		
	<p>d1-1:大人と一緒に使い、危険に近づかない</p> <p>●子どもだけでインターネットを利用しない</p> <p>d1-2:不適切な情報に出合わない環境で利用する</p> <p>●(参考:親や学校、社会が、環境を整えること)</p>	<p>d2-1:危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する</p> <p>▼見知らぬ人からのメールは、大人に知らせる</p> <p>▼変なメッセージを受け取ったら、すぐ大人に知らせる</p> <p>d2-2:不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する</p> <p>▼情報の中には、モラルに反するものや誤ったものがあることを知る</p>	<p>d3-1:予測される危険の内容がわかり、避ける</p> <p>▼出会い系、詐欺、成りすましなどの問題点や犯罪性を知り、避ける方法を考える</p> <p>▼犯罪に巻き込まれない知恵を学ぶ</p> <p>▼ネットで知り合った人に子どもだけで会いに行かない</p> <p>d3-2:不適切な情報であるものを認識し、対応できる</p> <p>▼迷惑メール(あるいは危険なメール)に対する知識を身につける</p> <p>▼匿名性の利点と危険性を知る</p>
	e 情報を正しく安全に利用することに努める		
	<p>e1-2:知らない人に、連絡先を教えない</p>	<p>e2-1:情報には誤ったものもあることに気づく</p> <p>▼情報を鵜呑みにしない</p> <p>e2-2:個人の情報は、他人にもらさない</p> <p>▼掲示板・ブログやチャットなどの安全な利用方法を知る</p>	<p>e3-1:情報の正確さを判断する方法を知る</p> <p>▼受け取った情報だけを信じて判断せず、別の方法で確かめる</p> <p>e3-2:自他の個人情報を、第三者にもらさない</p> <p>▼掲示板・ブログやチャットなどで個人情報を漏らさないようにする</p>
f 安全や健康を害するような行動を抑制できる			
	<p>f1-1:決められた利用の時間や約束を守る</p>	<p>f2-1:健康のために利用時間を決め</p>	<p>f3-1:健康を害するような行動を自制する</p> <p>f3-2:人の安全を脅かす行為を行わない</p>
情報セキュリティ	g 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る		
		<p>g2-1:認証の重要性を理解し、正しく利用できる</p> <p>▼パスワードは誰にも教えない</p> <p>▼自分の使った端末をそのまま放置しない</p>	<p>g3-1:不正使用や不正アクセスされないように利用できる</p> <p>▼パスワードは自分で管理しなければならないことを理解する</p> <p>▼どのようにして個人情報が漏れていくかを知る</p>
	h 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる		
			<p>h3-1:情報の破壊や流出を防ぐ方法を知る</p> <p>▼ウィルスに対する簡単な知識を知る</p> <p>▼自分の端末は人に貸さない</p> <p>▼ダウンロードには危険が伴うものがあることを知る</p>
公共的なネットワーク社会の構築	i 情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		
		<p>i2-1:協力し合ってネットワークを使う</p> <p>▽人のために役立つことをする</p>	<p>i3-1:ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う</p>